

2016 年 11 月 18 日

CA Technologies、メインフレーム・エコノミクスの 向上を実現する機械学習と新たな自動化機能を発表

～新たなイノベーションが、システム維持だけでなく、
アプリ作成の自由化と事業の敏しようにの向上を実現～

(本資料は、2016 年 11 月 16 日 CA World' 16 にて米 CA が発表した情報の抄訳です)

(2016 年 11 月 16 日、ラスベガス発 — CA World '16)

CA Technologies (本社: 米国ニューヨーク州アイランドニア市、CEO: マイケル・グレゴア) は、高度なアナリティクス、拡張された自動化機能、メインフレーム向けの DevOps、さらに、基幹業務に不可欠なデータ・セキュリティによってメインフレームへの投資価値を向上させる新しいソリューションを発表しました。

CA のメインフレーム・ポートフォリオには、メインフレーム上のデータをモニタリングする予測型アナリティクス機能が含まれています。[CA Mainframe Operations Intelligence](#) は新しいアルゴリズムに基づくソリューション・スイートであり、システムの問題がパフォーマンスに影響を及ぼす前に予測・特定します。ダウンタイムの発生を確実に抑止するために機械学習機能を使用し、データセンターを運用する労力とスキルを軽減するためのインテリジェンスを提供します。

CA Technologies Mainframe 担当 ゼネラル・マネージャ Ashok Reddy

メインフレーム IT は企業の成長に関するインサイトを提供するでしょう。CA のポートフォリオは、メインフレームの価値を最大化するための領域とスケールがあります。ビジネスに不可欠な運用のためのプラットフォームとして、また DevOps や強化された自動化によって発生するイノベーションの出発点として果たす役割を一段と強化します。

新しくリリースされた [CA Workload Automation](#) は、ビッグデータ、クラウド、モバイル・アプリケーションなどの新しいワークロードをより容易に処理することを可能にします。また、アクセスの容易さや可視性の強化を実現する直感的なウェブ・インタフェースを通じて企業横断的なワークロードを安全にスケジュール、管理、モニタリングします。実際に、3 年間で 245% の ROI を達成した大手小売店は、CA Workload Automation の実装後、生産性の向上によって 210 万ドルの経費を削減しました。¹

Manulife Financial and John Hancock シニア・バイス・プレジデント兼最高技術責任者 Doug Schneider 氏
CA Workload Automation での経験によって、私たちはビジネスのスケールアップが可能になりました。アップグレードは素早く、かつ簡単で、各リリースには当社の事業にとって価値のある機能が盛り込まれてきました。モダンな UI をまとった新リリースの可能性に大いに期待しています。当社のチーム・メンバーは時間や場所に制限されることなくワークロードを作成、モニタリング、管理することができるのです。ポータビリティは、時間を節約し、瞬時にエンゲージメントを可能にする上で大きな要因となります。当社はまた、Add Dev、Line of Business、および IT Ops の可視性をそのワークロードに与える新しいカスタマイズ可能なダッシュボードを使えることを楽しみにしています。

新しい自動化機能は、顧客企業がメインフレーム・ソフトウェア移行労力のプロジェクト・ライフサイクル全体を

¹ [A commissioned study conducted by Forrester Consulting on behalf of CA Technologies, The Total Economic Impact™ Of CA Technologies Workload Automation, February 2016](#)

管理できるようにします。CA Conversion Service は、データの準備から設計とロールアウトに至るまでに必要な労力を管理する業界初のクラウド・ベースのサービスで、これにより高いコストが発生するプロフェッショナル・サービスの必要性やスタッフの混乱を低減することができます。

モバイルからメインフレームまで網羅する先進的な開発

包括的な DevOps をメインフレーム(開発からテスト、リリース、管理まで)にもたらすことで、新 [CA Release Automation Connector for z/OS](#) は、継続的配信と導入をサポートしています。これには、市場を牽引する [CA Endevor® Software Change Manager](#) とソースコード管理の統合が含まれ、さらに、Java コンポーネントの管理機能や、メインフレームと分散環境でのより高いデリバリ速度を実現するためのより優れた監査機能を提供するよう拡張されています。

メインフレーム上でのデータ・セキュリティでコンプライアンスのコストを低減

顧客企業は厳密なデータ・セキュリティとコンプライアンス要件を [CA Data Content Discovery](#) と [CA Compliance Event Manager](#) によって解決できます。これら、業界初のメインフレームにおける革新的技術は、保存中または移動中の機密データや規制されたデータを検出、分類、保護し、最終的には、大きい損害が発生するデータ侵害やインサイダー脅威を回避するために役立ちます。そのため、これらの新しく発表されたソリューションは、メインフレーム上で100% 実行され、機密データのオフローディングに内在するリスクを大幅に低減する市場で唯一のデータ保護ソリューションと言えます。

CA は、メインフレームの技術革新に投資することで、企業が複数のプラットフォームで横断的にデジタル・トランスフォーメーション戦略を確立し、完全に実行できるよう支援しています。これらのソリューションは、市場のシフトと運用上のニーズを検知、反応、そして適応する能力をお客様に与える CA のソフトウェア・ポートフォリオの一部です。

IDC グループ・バイス・プレジデント Matt Eastwood 氏

メインフレームは依然としてサーバ技術への年間支出の 10%を占めています。業務アプリケーション、トランザクション処理、大規模なデータ・ウェアハウスなど多様なミッション・クリティカルなワークロードにとって非常に強力なプラットフォームであり続けています。

参考資料

- [CA World Online Press Room](#)
- [CA's Mainframe Portfolio](#)
- [DevOps for Mainframe](#)
- [Mainframe App Dev](#)

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、<<http://www.ca.com/us.html>>(米 CA Technologies)、<<http://www.ca.com/jp>> (日本)をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japan をご覧ください。

この件に関する報道機関からのお問い合わせ先:

CA Technologies

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階
コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115 e-mail: CA@pr-tocs.co.jp